

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	歯科衛生学科の将来構想につなぐ教育改革の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授/学科代表	氏名	吉田 直樹
	研究分担者	所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授	氏名	仲井 雪絵
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授	氏名	野口 有紀
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・准教授	氏名	長谷 由紀子
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・講師	氏名	森野 智子
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・講師	氏名	山本 智美
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・講師	氏名	松原 ちあき
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・助教	氏名	中村 和美
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・助教	氏名	鈴木 桂子
		所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・助教	氏名	藤田 美枝子
発表者	所属・職名	短期大学部歯科衛生学科・教授/学科代表	氏名	吉田 直樹	

講演題目	歯科衛生士国家試験出題基準の改定への対応
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>短期大学部歯科衛生学科では、学生は卒業時に、歯科衛生士国家試験の受験資格が得られる。したがって、3年間のカリキュラムにおいて、学生へは、歯科衛生士国家試験に合格することができるために、十分な学力を得られるような教育を、提供することを保証しなければならない。</p> <p>歯科衛生士国家試験出題基準は、過去に4～6年毎に改訂されている（平成11年、平成15年、平成19年、平成23年、平成29年、令和4年）。</p> <p>直近では、令和4年3月に、令和4年度歯科衛生士国家試験出題基準が示された。時代の要請に応える歯科衛生士を確保する観点から、下記の出題について更なる充実を図り、資質向上を促進していく必要があるとして、（1）高齢者等による疾病構造の変化に伴う歯科診療の変化に関連した、歯科衛生士として必要な高齢者や住宅・施設介護や病棟での対応に関する出題。（2）地域包括ケアシステムの推進や多職種連携等に関する出題。（3）口腔機能の維持・向上や摂食機能障害への対応に関する出題。（4）医療安全や職業倫理に関する出題。（5）周術期等口腔機能管理に関する出題。（6）医療のグローバル化に伴い歯科衛生士としての国際貢献を踏まえた国際保健に関する出題。の6項目が挙げられている。</p> <p>歯科衛生学科における学生教育においては、教員が最新の情報を、関連の学会や協議会、論文、書籍等から収集し、それを学生教育へ反映できる環境が確保されていることが重要である。</p>